

## 【アメリカ】 アフガニスタン増派に関する公聴会

海外立法情報調査室・廣瀬 淳子

\* アフガニスタンでの戦況は非常に厳しく、現地軍の司令官は更なる増派を求めている。オバマ政権内部には増派に慎重論があり、世論も増派には反対論が強い。議会指導部、特に民主党内にも増派には、意見の対立がある。

### オバマ政権のアフガニスタン政策

2001年に開始されたアフガニスタンにおけるテロとの闘いは、タリバン勢力の拡大などで、2009年に入り米軍の戦死者数が過去9年間で最大となるなど、出口の見えない状況が続いている。長期化する戦闘に、その戦略や目的を見直す声も高まっている。

大統領選挙でアフガニスタンへの増派を公約していたオバマ大統領は、2009年3月27日にアフガニスタンとパキスタンに関する包括的な新戦略を発表した。アルカイダやタリバン勢力を押さえ込むために4,000人を増派してアフガニスタン治安部隊の訓練にあたらせるほか、復興支援を重視する内容であった。

2009年10月初めの時点で、アフガニスタン駐留米軍の兵力は65,000人規模で、2008年初めの26,000人規模から大幅に増加している(注1)。オバマ政権になってから合計で21,000人の増派が決定され、増派が完了する今年末には、68,000人規模になる予定である。

アフガニスタンの駐留軍のマクリスタル司令官は、8月、アフガニスタンでの状況を分析し、今後更に最大40,000人規模の増派を要請する報告書をゲーツ国防長官に提出した。この報告書は、10月にオバマ大統領に提出された。

### アフガニスタン情勢をめぐる公聴会

上院軍事委員会では、2009年9月15日に、マイク・ミューレン統合参謀本部議長が、自身の再任承認のための公聴会で証言した。マクリスタル司令官の増派案を支持して、アフガニスタンには米軍の早急な増派が必要であり、現段階でアフガニスタンの治安部隊に頼ることは危険であり、アフガニスタン軍の訓練等にはまだ相当長期間を要するとした。

上院の外交委員会でも、アフガニスタン情勢や増派などの政策を巡って一連の公聴会が開催された。9月16日には、「アフガニスタンを巡る3つの戦略」、9月17日には「アフガニスタンにおける失政の脅威への対策」と題する公聴会が開催され、シンクタンクの研究者や元米軍司令官らが証言を行った(注2)。10月1日と、10月6日にも引き続き、公聴会が開催されている。このなかで、マクリスタル司令官の増派案を支持する分析が提示される一方、増派の効果に懸念も示された。タリバンの現状や、今後どの位の増派が必要なのかについては、十分明らかにはされなかった。

## アフガニスタン大統領選挙と米議会民主党

アフガニスタンでは大統領選挙が 2009 年 8 月に行われた。カルザイ大統領派の大規模な選挙不正が行われたことが明らかになり、決選投票が 11 月 7 日に実施される予定である。これまで民主党はオバマ大統領の掃討作戦を支持していたが、増派によってカルザイ政権をアメリカが支えるべきかについて、疑問が呈されるようになった。

10 月 6 日には、オバマ大統領が両院の議会指導部とアフガニスタン戦略を巡って協議を行った。共和党の両院指導部は米軍のマクリスタル司令官の意見に従うべきとして、増派に賛成している。民主党は、下院ペロシ議長が戦略の無い増派には反対であるとしている。上院リード院内総務は、大統領に従う姿勢である。ケリー上院外交委員長は、増派には反対の姿勢を示している。レビン上院軍事委員長は米軍の増派よりも、アフガニスタン治安部隊を訓練し装備面でも増強するべきと主張している。民主党内では、一般の議員でもリベラル派を中心に反対が根強い。バイデン副大統領は、増派に慎重で、戦闘の目的もテロ容疑者の拘束に限定すべきとしている。

オバマ大統領が増派などの戦略の決定をするのは、11 月になる見通しである。

## アフガニスタン増派予算

アフガニスタンに派兵するには、兵士 1 人当たり年間約 100 万ドルの予算が必要とされ、40,000 人増派すると、年間約 400 億ドルが新たに必要となる(注 3)。2010 年度国防歳出予算法案に盛り込まれたアフガニスタン戦費の総額は、730 億ドルに上る。オバマ大統領が増派を決定すれば、そのために必要な追加予算は、来年議会で審議されることになる。

2010 年度国防歳出予算法案の審議でも、アフガニスタン増派を巡って議論があった。上院本会議の審議では、共和党マケイン議員が、増派案についてマクリスタル司令官らに 11 月中旬までに議会の公聴会で証言を求める修正案を提出したが、民主党の反対で否決された。

増派が決定された場合、追加予算の審議は難航が予想される。

参考文献(インターネット情報はすべて 2009 年 10 月 21 日現在である。)

・Kenneth Katzman, "Afghanistan: Politics, Elections, and Government Performance", *CRS Report for Congress*, October 1, 2009. < [http://assets.opencrs.com/rpts/RS21922\\_20091001.pdf](http://assets.opencrs.com/rpts/RS21922_20091001.pdf) >

注

(1) "Support Troops Swelling U.S. Force in Afghanistan", *Washington Post*, October 13, 2009.

(2) U.S. Senate Committee on Foreign Relations, "Exploring Three Strategies for Afghanistan" <<http://foreign.senate.gov/hearings/2009/hrg090916p.html>>; "Countering the Threat of Failure in Afghanistan" <<http://foreign.senate.gov/hearings/2009/hrg090917a.html>>

(3) Frank Oliveri, "New Boots on the Ground: \$1 Million a Pair, per Year", *CQ Weekly*, October 12, 2009, p.2294.